

安全運転

ほっと NEWS
2010年3月号

今月のデータ

安全確認のために車両に
装備されるミラーの形態
分類数

2 種類



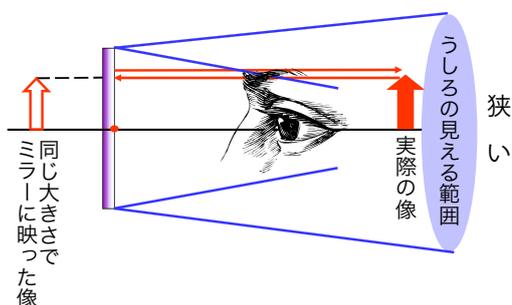
TOKIO MARINE
NICHIDO

安全運転には欠かせませんが ミラーを過信していませんか？

運転中の後方の安全確認は直接目で見て行なうに越したことはありませんが、前方から大きく視線をそらすことには危険が伴うことから、サイドミラー（ドアミラー）やルームミラーを利用してこれを行なっています。しかし、ミラーを活用しさえすれば自車の周囲はすべて正しく見えていると思っていませんか？ミラーには真の姿が写っているのでしょうか？今回はこのような視点から必要なポイントについて解説します。

車で使用される 2 種類のミラーとその特性

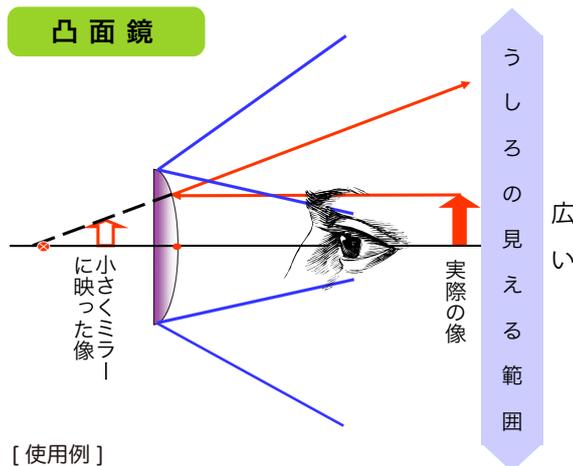
平面鏡



〔使用例〕

ルームミラー（バックミラー）
バニティミラー（化粧鏡）

凸面鏡



〔使用例〕

サイドミラー（ドアミラー）
車の直前や直後の安全確認用ミラー

左右は逆になりますが姿・形は正しく映り、距離感も正確につかめます。

長所

平面鏡よりも広い範囲を写し出すことができ、その中で何かがあるとか、何かが動いているという危険の兆候をつかむ用途に適しています。

映る範囲が限られます。広い範囲を見るにはミラーに近付くか、大きなミラーを使用する必要があります。

短所

ミラー周辺部では大きさも歪み、正しい形と距離感はつかみにくくなります。

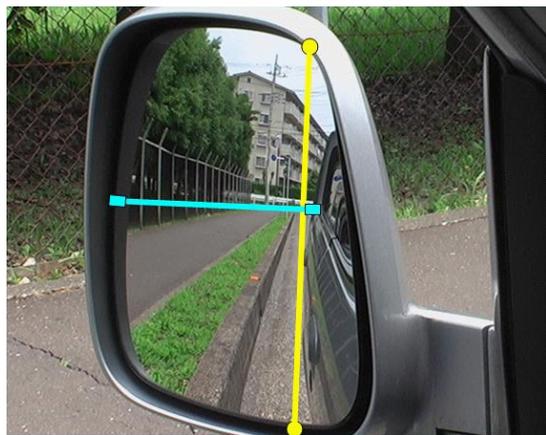
凸面鏡の見え方の実例

● 右の写真は凸面鏡の典型的な映り方としてコーナーミラーでの例を示したものです。

● チェッカー模様を貼った長方形の白いボードが写っていますが、直角であるはずのそれぞれの角を含め樽のようにひずんで見えることが分かります。周辺部になればなるほど正確な形を読み取ることがむずかしくなることを理解して下さい。



凸面鏡（サイドミラー）のセットのポイント



■ サイドミラー（ドアミラー）を見る瞬間は、前方から視線が離れる危険な瞬間でもあります。その短い貴重な時間で必要な情報がつかめるよう常に正しくセットしておくことが大切です。

■ このため左図のように、より正確な形が得られるミラーの中心部に最も見たい情報が写るよう、水平線を上下の中央に、自車の写り込みは内側1/4程度にするのがよいでしょう。



避けられない「死角」の存在

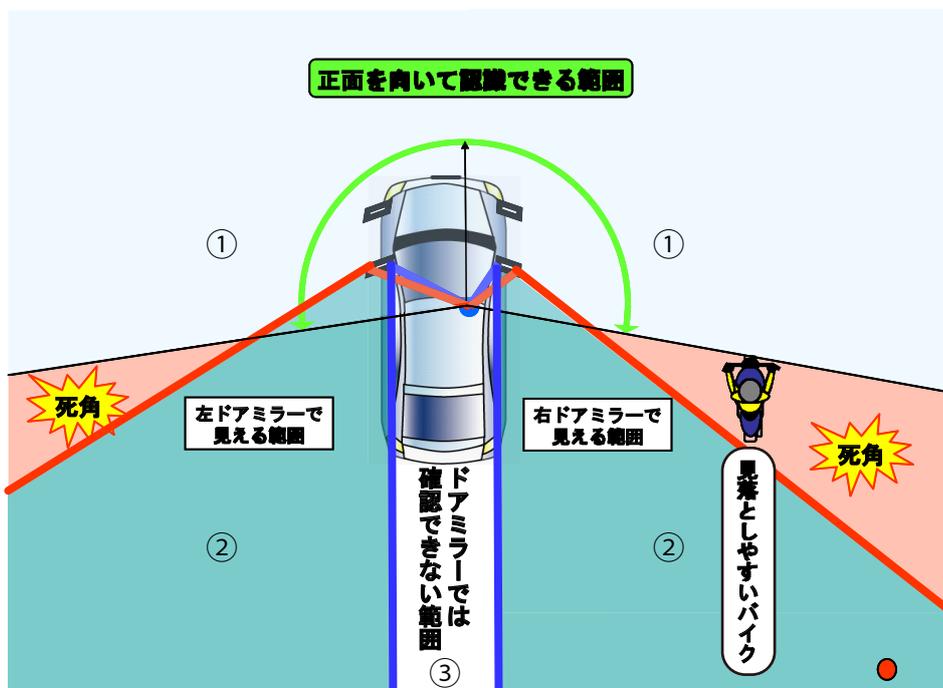
■ 正面を向いて目に入る範囲は黄緑矢印で示した右図①の範囲です。

■ 左右のドアミラーを利用して安全確認ができるのは右図で青緑色の②の範囲です。

■ そして、ルームミラーが利用できれば、真後ろ③のエリアも確認出来ます。

ここで、何より気を付けなくてはならないことは、図で理解できるように「死角」の存在です。なんとなく、周囲は全て見えていると思いがちなのが最も危険です。

■ 死角は、直接目で見る以外に安全確認の方法がありません。余裕があるときは必ず視線を向けて状況を把握しましょう。



楽しいドライブのため、正しくミラーを活用しましょう！



東京海上日動リスクコンサルティングの自動車事故削減プログラム

東京海上日動リスクコンサルティングでは、カメラ付ドライブレコーダを使用した自動車事故削減プログラム（法人向け）をはじめ、各種事故削減メニューを取り揃え、ご提供しております。

詳しくは、03-5288-6586（担当：西村・阿部）までお問合せください。
（HP：<http://www.tokiorisk.co.jp/>）

ご用命・ご相談は・・・

「やすらぎ」の設計が私たちの使命です...

保険システム株式会社
INSURANCE SYSTEM CO.,LTD

〒950-0087
新潟市中央区東大通2-4-1 新潟パナソニックビル6F
TEL 025-243-7374 FAX 025-243-0921
E-MAIL yasuragi@hokensystem.co.jp
URL <http://www.hokensystem.co.jp>



東京海上日動火災保険株式会社
企業営業開発部

〒100-8050 東京都千代田区丸の内1-2-1
TEL 03-5288-6589 FAX 03-5288-6590
URL <http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/>

担当営業課